

§ Silphidae シテムシ科

1. *Ptomascopus morio* コクロシテムシ

1979年5月10日	兵庫県川西市笹部(腐肉トラップ、鳥ガラ使用)	2 exs.
1979年5月12日	兵庫県川西市笹部(腐肉トラップ、鳥ガラ使用)	7 exs.
1979年5月20日	兵庫県川西市笹部(腐肉トラップ、鳥ガラ使用)	1 ex.

§ Staphylinidae ハネカクシ科

1. *Tachinus japonicus* ヤマトマルクビハネカクシ

1979年5月20日	兵庫県川西市笹部(腐肉トラップ、鳥ガラ使用)	7 exs.
------------	------------------------	--------

§ Attelabidae オトシブミ科

1. *Paracentrocorynus nigricollis* アカクビナガオトシブミ

1979年5月19日	兵庫県川西市笹部	1 ex.
------------	----------	-------

以上のほかに、未同定の甲虫、新しく採集した半翅目などがありますが、それらについては、つぎの機会にゆずらせていただきます。最後にデーターをいただいた4氏をはじめ、種々御指導いただいた方々に深く御礼申し上げます。

ルリヒラタムシをハチ北高原にて採集

小林桂助

ルリヒラタムシに初めて出会ったのは小学5年生の夏休みのことである。日光湯元の湯ノ湖畔のノリウツギ(多分そうだったと思う)に群れていたハナカミキリ類を採集中、偶然にネットに入ったのがこの虫であった。

初めて見る昆虫で勿論種名は知らなかったが、甲虫としては小さい方ではなく、扁平の型と濃紺色が気に入り、当時の採集品中の逸品として、今でもキャビネットに大切に保存されている。

爾来この甲虫には長い間全く出会う機会がなかった所、本年(1979年)6月9日、ハチ北高原で県主催の探鳥会が行なわれた際、同行のAさんが、今帽子でたたき落したとあって、もって来てくれたのが、この虫であった。実に50数年振りの再会である。

北方型のこの甲虫は北海道、本州中部山岳また台湾でも高山には生息するといわれているが、何れの地にも決して多いものではないらしい。中国山脈の高地では扇ノ山で採集された記録があり、県下では他に城崎郡の三川山での記録もあるが、比較的珍しい甲虫と思うので茲に報告する。

## 城崎産甲虫数種の記録

高倉康男

1979年8月1日、観光旅行で訪れた城崎で外灯に来ていた甲虫数種を採集したので記録する。

ベーツヒラタカミキリ *Euryoda batesi* Gahan (1♀)

近くの豊岡、香住からの記録(高橋匡、1975)もあるが兵庫県下の記録は大変少ない。

他に、ニセケゴモクムシ *Harpalus pseudophonoides*, チビキイロゴモクムシ *Acupalpus inornatus*, イツホシツヤゴモクムシ *Stenolophus quinquepustulatus*, ゴミムシ *Anisodactylus signatus*, オオツヤホソゴミムシ *Menophilus arciscelis*, ハネナシセスジキマワリ *Strongilium marseuli*, ヒメキマワリ *Plesiophthalmus laevicollis*, ゴマフガムシ *Berosus signaticollis*, ヒメサクラコガネ *Anomala geniculata*, スジコガネ *Anomala testaceipes* が採れた。カミキリについて御教示いただいた高橋寿郎氏に厚く御礼申上げる。

## 夢前町雪彦山にナガサキアゲハ

堀 紳 二

1978年9月10日に飾磨郡夢前町雪彦山にて、ナガサキアゲハを目撃した。

最初、同行した妹が見つけたもので、光沢のある黒色が見事な、新鮮な雄であった。

この個体は見事に筆者が採り逃がし、あっという間に山の中へ消えてしまった。

しかし、しばらくすると、また悠々と川に沿って飛んで来た。どうも蝶道を作っているらしく、その後も5回程同じ所を飛ぶのを観察した。又、筆者が観察していた所より、ずっと道を下った所でも妹は目撃したとのことで、目撃した個体が非常に新鮮なことでもあり、一時的に発生していたのかもしれない。この疑問をもって今年(1979)は4月、5月、7月に各1回当地を訪れたが目撃